



平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社
 代表者名 取締役社長 久保田 隆
 (コード番号 6366 東証第一部)
 問合せ先 主計部長 楠 真治
 (TEL 045-506-9410)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成20年5月14日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	460,000	12,500	16,000	9,500	37.40
今回修正予想(B)	450,000	7,000	10,000	5,000	19.68
増減額(B-A)	△10,000	△5,500	△6,000	△4,500	—
増減率(%)	△2.2	△44.0	△37.5	△47.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	603,559	8,839	19,121	9,640	50.15

2. 業績予想修正の理由

売上高については、予想を超える円高で海外工事の完成工事高の円換算額が減少したことによります。営業利益については、昨年来懸案となっておりますカタール・ガス社第6、第7トレイン建設工事にかかる顧客との工期延長及び契約金額の増額（チェンジ）交渉については概ね目処が立ちましたが、獲得したチェンジ金額がサブコンなどへの追加費用支払見込額を下回ったため減益となる見通しです。経常利益については、米ドルなどの金利引下げによるジョイントベンチャー持分資産の利息収入が減少したことが影響致しております。当期純利益については、経常利益の減少に加えて、保有する投資有価証券の評価減を計上しております。

なお、今回の修正にあたっては、想定為替レート的前提を、第2四半期決算発表時（平成20年11月12日）の1米ドル95円から90円に変更しております。

3. 期末配当予想の修正

現金配当	1株当たり配当金(円)	
	期末	年間
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	11	11
今回修正予想(B)	6	6
増減額(B-A)	△5	△5
前期実績(平成20年3月期)	10	10

4. 配当予想修正の理由

当社は連結純利益に対する配当性向について30%を目標とし、平成21年3月期においては11円を見込んでおりました。しかしながら、当期純利益が減益となる見通しから、誠に遺憾ながら通期の1株当たり配当金は6円に修正させていただきます。

5. 受注工事高予想の修正

(金額の単位：百万円)

	受注工事高
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	450,000
今回修正予想(B)	210,000
増減額(B-A)	△240,000
増減率(%)	△53.3
前期実績(平成20年3月期)	258,754

6. 受注工事高予想修正の理由

当社の技術優位性が発揮できる案件を見極めつつ受注活動を展開してまいりましたが、昨秋の金融危機に端を発した世界的な景気の急減速により、オイルメジャーを始めとした当社の主要顧客においては、新規の設備投資に対して慎重なスタンスを取る傾向が顕著となりつつあります。中長期的にはエネルギー関連投資は依然として根強いものの、目先においては投資計画の見直し、延期が相次ぐ状況にあるため、受注工事高を210,000百万円に修正致します。

7. 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。従いまして、これらの見通しのみを依拠した判断をされることは控えるようお願い致します。

以上